

馬場ひでゆきの活動日誌

No27

知事の議案説明

県議会が始まりました。第1日目（6月25日）は、知事の議案説明でした。国会でいえば、首相の施政方針演説です。その概要を報告します。

知事は①能登半島地震への対応、②佐渡の金山の世界遺産登録、③子育て支援、④脱炭素社会への転換、⑤デジタル改革の実行、⑥柏崎刈羽原発、⑦地域医療、などの主要課題に対する取組について説明しました。

この中で、上越地域の私たちが注意すべきは、⑦の地域医療についてです。

まず、知事は上越医療圏について、3月の上越地域医療構想調整会議で、圏域全体の抜本的な医療再編について、中核病院の集約による機能強化や、身

近な病院の機能・規模の適正化など大枠の方向性が合意され、今後は「早期のとりまとめに向け、丁寧かつスピード感をもって取組を進める」としました。

次に、県立病院が令和5年度で約23億円の赤字を計上し、危機的な財政状況であることを強調し、県立病院の役割を見直し、いく旨強調しました（詳しくは裏面参照）。

今後は上越地域においても病院の規模の適正化・縮小化を具体化する見込みです。県主導の病院再編でいいのかどうか、私たちが意見を集約して行政に伝えていく必要があります。

令和6年度補正予算案

この議会では、約17億8000万円の増額補正予算案が提出されました。内訳は次のとおり。

①新潟県なりわい再建支援事業
能登半島地震により被災した中小企業等の復旧・復興を推進するため、施設や設備の復旧等の事業再建に係る経費の支援。予算額は10億3857万円、中小企業等に直接支援するもので、

補助率は4分の3以内です。

②液状化被災宅地復旧支援事業
能登半島地震により液状化被害を受けた宅地の早期復旧のため、所有者が実施する宅地の復旧に要する経費の支援。予算額は6億8826万円、市町村を対象に支援するもので、補助率は2分の1以内です。

③原子力防災対策費
柏崎刈羽原発発電所周辺地域の住民の安全と安心を確保するため、原子力災害時の住民避難を円滑にするための避難路整備に係る事前調査。予算額は5297万9000円。

①、②は、被災者のための復旧復興予算が必要です。また、③も原発事故の避難路整備のための調査（今も使用済み核燃料があり、再稼働していない現在でも原発事故は起こりうる）ですから必要です。

財源は、県の財政調整基金（貯蓄）から約12億円、国庫支出金から5億7200万円になります。

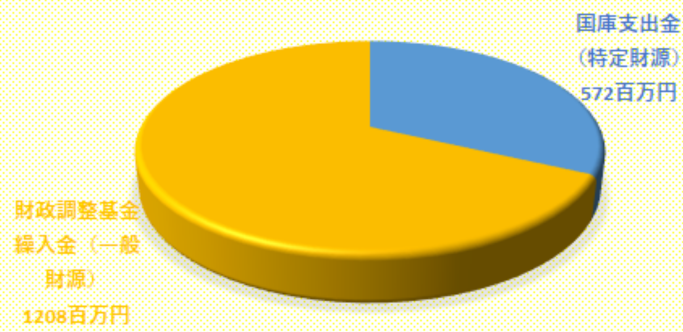
（訂正）日時変更のお願い

前回26号で、「上野こうえつ市議こうえつ市議と馬場ひでゆきの市政・県政報告会」のご案内をいたしました。諸般の事情により左記の通り開催日時を変更いたしました。誠に申し訳ございません。

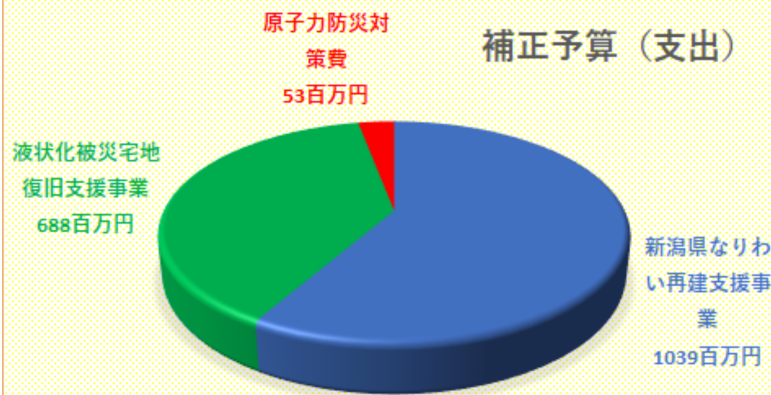
「上野こうえつ市議と馬場ひでゆきの市政・県政報告会」
日時 7月30日（火）
14時～16時
場所 土口集落の公民館
(桑取地区)

6月定例会（議会）始まる！！

主な財源（収入）



補正予算（支出）



医療再編について考える 県の改革案にどう向き合おうか？

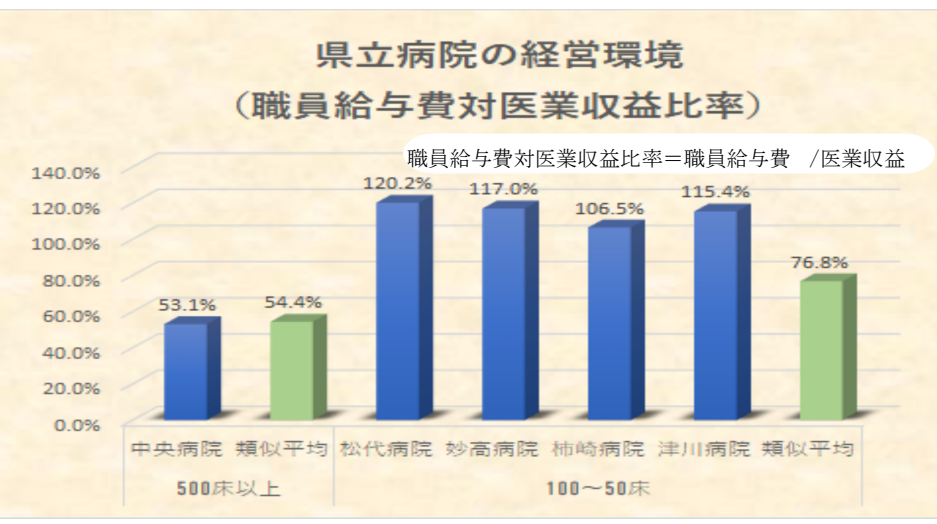
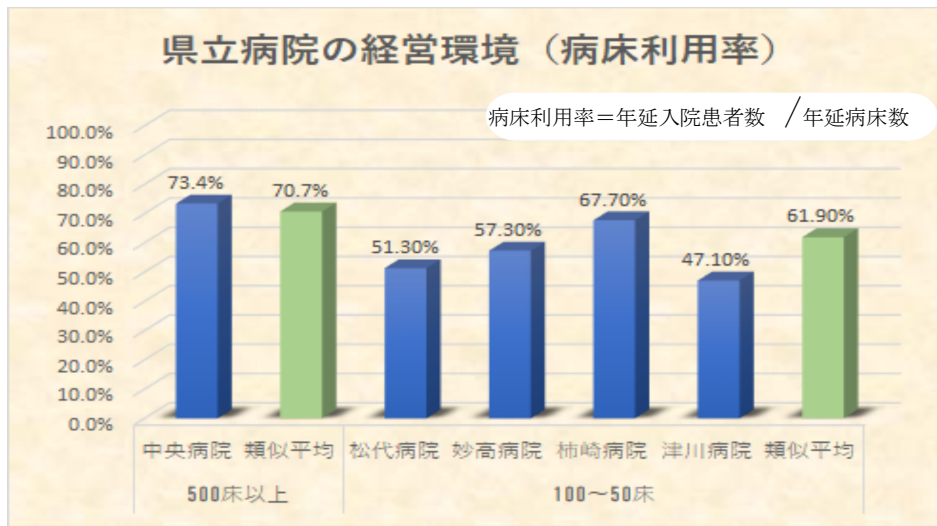
●新潟県の病院合理化計画

県は、令和5年度の県立病院の決算が23億円の赤字になったこと、令和6年度も43億円の赤字が見込まれるとして、県立病院の経営改革に乗り出しました。

病院事業会計では、毎年150億円程度を一般会計から繰入しているところ、繰入後も毎年度30億円の赤字が発生している、こ

のままです。内部留保資金が枯渇してしまう、そのために、病院事業の経営体質を30億円程度改善する必要があります、というのが県の考えです。

左の図は、県の病院局が議会に提出した資料をもとに私の事務所で作成したものです。この病院の合理化計画は、直接に上越地域にも関わってくるので、



●私たちはどうすればいい？

効率性の観点から各地元の病院運営に問題があるというのはわかりますが、だからといってただちに病院の機能を縮小してしまうことには同意できません。例えば、柿崎病院は頸北地域の核になっている病院です。同病院の救急体制が仮になくなったら、救急患者は中央病院にまで搬送されることとなりますが、高速道路を利用して30〜50分はかかります。助かる命も助からないのではという声を多くいただきました。

妙高病院も同じですが、妙高は冬季にスキー客で賑わいます、スキーでの骨折事故などにも迅速に対応するためには地域に救急医療ができる医療施設が不可欠です。

データをみて、県の話をするのにせず、私たちから提言をしていくことが必要です。

コーシー Break

県議2年目になりました。1年目は、今から思えば、五里霧中で毎日毎日、朝起きても霧の中にいる感じで、どういこうことをしたらいいのかさっぱりわからない。周りから言われたこと、予定された行事や議会の仕事をこなすことに精一杯でした。途中でとめどもなく不安になり、ついついその不安を口にも出しました。皆さんも、「パパ、大丈夫か？」と不安になったのではないかと思います。

それでもなんとか1年を終えました。年間を通してどんな予定や行事があるのかがわかりました。なので、二年目は仕事の調整もうまくつけるようになりました。それから、県庁や上越地域振興局の皆さんと少しですが、親しくなれました。皆さんこちらが質問や要請をすれば、きちんと対応してください。それは、無所属とか党派とは関係なくです。今まではどうしているかわからずに遠慮していましたが、これからはどんどん積極的に職員の皆さんと情報を交換したり、要請に出向いたりしようと思います。今年、昨年以上に勉強し、事柄をもっともっと深く掘り下げていきたい。今後もよろしくお願ひいたします。

発行責任者：馬場ひでゆき事務所
住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号
ダイヤパレス高田式番館2階
電話 025-546-7110
ファックス 025-546-7666
メール kengi-bahaideyuki@wind.oon.ne.jp